

## 平成28年度 部局長マネジメント方針

財務部長 まつもと 松本 きょういち 恭一



### 仕事に対する基本姿勢

財務部は、市民の皆様になめていただく税金や市有財産を、より広く、より効率的・効果的に住民サービスとして還元させていただくため、市の予算や財産の管理、契約事務、工事や購入物品の検査事務など、言わば市役所の裏方の仕事を担っております。

人口減少社会を迎え、少子高齢化もさらに進むことが見込まれるなど、全国的に基礎自治体の財政運営は今後益々厳しくなると予測されますが、加えて、本市ではラグビーワールドカップ2019の開催準備や、新市民会館の建設、大阪モノレール延伸計画の促進など、中長期的に財政需要の拡大が見込まれます。

財務部では引き続き「最小の経費で最大の効果を挙げる」ことを基本姿勢とし、予算の編成過程において事務事業の見直しや、より効率的・効果的な財源配分に努めるとともに、市有財産の有効活用による新たな収入や、契約・検査事務を通じた経費の節減など、組織一丸となって財源の確保に取り組み、重要施策の着実な推進と、持続可能な安定した財政運営の堅持を図ってまいります。

### 平成27年度の振り返り

平成28年度の「予算編成方針」の通知にあたり中長期財政収支見込(H27～H36)を策定し、本市の財政状況を全庁的に周知しました。市税収入が伸びず、地方交付税等の減少が見込まれるなど、極めて厳しい予算編成となりましたが、花園ラグビー場の整備や新市民会館建設事業のほか、子育て支援施策の充実など喫緊の課題に対応するとともに、公共施設再編整備計画や外郭団体統廃合等方針に関連する経費など、将来の財政運営の安定化に資する予算を積極的に計上しました。

財源確保策の柱の一つである市有地の有効活用について、平成27年度には旧文化会館跡地など3物件を売却し、5億円余りの収入を得ましたが、当該収入については今後基金に積み立て、市債の償還財源等に活用してまいりたいと考えております。また、旭町庁舎閉鎖後の解体工事までの間の管理について、市で管理工事を行わず、駐車場として活用を民間事業者にも募ることにより、支出を収入に転じさせる工夫をいたしました。

契約事務に関しては、事務の透明性・公正性の確保をより一層進めるため、一般競争入札（電子入札）の対象範囲の拡大に向けた平成28年度の「建設工事等の入札・契約方針」を策定しました。

## 1 将来にわたり、持続可能な安定した財政運営の堅持

平成28年度の一般会計当初予算では多額の財政調整基金の繰り入れを余儀なくされましたが、予算の執行にあたっては、歳入の確保とあわせ、あらゆる工夫を全庁的に促しながら財源確保に努め、持続可能な安定した財政運営を堅持してまいりたいと考えております。

また、景気動向や地方財政制度の改正等に関する情報収集に努め、中長期財政収支見込の時点修正を行うとともに、新地方公会計制度に遺漏なく対応し、本市の財務状況を積極的に公表してまいりたいと考えております。

なお、現下の財政状況を踏まえ、施策の「選択と集中」、「優先順位の明確化」の考えに立ち返り、平成29年度予算編成にあたっては事務事業の見直しに臨んでまいりたいと考えており、見直しに必要な課題解決など、早期に所管部局や関係部局と調整を図ってまいります。

## 2 市有地の有効活用により財源確保に努めます

市有地の有効活用について、平成28年度においては新田事業所跡地の早期の有効活用に向け、大東市との調整など鋭意進めてまいります。また、新旭町庁舎建設PFI事業を進めるにあたっては、敷地の一部について財源確保に向けた活用を検討してまいります。

他の未利用地につきましても鋭意、関係部局との調整を図りながら、貸付・売却など有効活用を検討し、財源確保に努めてまいります。

## 3 電子入札対象範囲の拡大

入札参加事業者の利便性、入札事務の透明性、公正性の確保、競争性の向上を図るため、平成28年度から発注予定金額が130万円超の土木、舗装工事、1000万円以上の建築、電気、管、造園、その他工事、50万円超の建設工事に係る設計業務、及び単価契約を電子入札の対象とします。

## 4 市内企業・業者の受注機会増大の推進

建設工事・物品購入等の発注にあたっては、透明かつ公正な競争入札及び契約の適正

な履行の確保に留意しつつ、市内経済の活性化と業者育成のため、引き続き市内業者への優先発注を推進し、受注機会の増大に努めるとともに、大規模工事の発注にあたっては、下請け要件の設定など、市内企業・業者がより多くの受注機会を得られる手法を検討してまいります。